

サービス工学セミナー「革新的サービスを生む設計研究」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は当研究会の活動に関し格別のご高配を賜り、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

近年、ビジネス設計や製品設計、エコデザインなど広範な分野で「製品サービスシステム」や「サービス工学」と呼ばれる「製品とサービスを一体化したモノづくり」、「サービスの品質および生産性向上」のための手法に関連する研究が急速に進展しております。これらは、製造業製品とサービスの双方を含む広義製品の顧客満足度を最大限に高める方法論と、当該製品をその生涯にわたって効果的に利用することでその潜在的な価値を最大限に引き出すための方法論として総括されます。すなわち、従来主に工学分野において醸成されてきた体系化技術は、従来の製造業製品に対する顧客満足度の向上のみならず、サービス産業に対する顧客満足度と生産性の向上、環境負荷の低減にも直結し、今後の「サービスづくり」においても重要な研究分野であると認識されています。

このような中で、東京大学、首都大学東京は、2002年より複数の企業とともに産学協同によるサービス設計のための方法論に関する研究活動を「サービス工学研究会」の名称のもとで進めてまいりました。サービスの設計研究は、大規模化・複雑化したサービスへの対応、サービス知識の体系化と継承、創造性の高いサービスの開発支援等を実現する上で重要な役割を担うことが期待され、これまでに微弱ながらも堅実な成果を創出してまいりました。

本セミナーでは、今後の皆様のサービス生産性向上にかかる取り組みの一助として頂くべく、午前と午後二つのセッションを企画致しました。午前の部「サービス研究の進展」では、多様な広がりを見せるサービス研究の位置づけを研究対象の観点から俯瞰しつつ、産学官それぞれの立場のパネラをお招きし、サービス研究に関する現在の取り組みと今後の期待・展望についてお話いただきます。午後の部「サービスの設計研究の展開」では、当研究会が現在取り組んでいる三つの事例研究をご紹介させて頂くなかで、サービスづくりのための着眼点と具体的な分析方法について報告いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

- テーマ : 「革新的サービスを生む設計研究」
- 開催日時 : 2010年2月24日(水) 9:30 ~ 16:30 (受付 9:00~9:30)
- 会場 : 公立大学法人 首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 12階
- 主催 : サービス工学研究会 URL : <http://www.service-eng.org/index.html>
- 参加費 : 無料
- 定員 : 50名 (定員に達し次第、締め切らせていただきます。)
- 申込方法 : 以下の申込フォームへご記入の上、下記のアドレスまでご返信ください。
e-mail : seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp

申し込みフォーム

サービス工学セミナー（2010年2月24日）参加申し込み

サービス工学研究会セミナー事務局行 e-mail : seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp

氏名 : (ふりがな :)
社名／大学名／機関名 :
所属 :
役職 :
Tel :
e-mail :

お問い合わせ先 : サービス工学研究会セミナー事務局

e-mail : seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp

予定内容

◆ 午前の部 サービス研究の進展

(9:30 ~ 12:00)

- サービス工学研究の概要 9:30~10:00

研究の背景、国内外におけるサービス工学研究の動向、サービス研究俯瞰図
東京大学 新井 民夫 教授、首都大学東京 下村 芳樹 教授、他

- パネルディスカッション 「サービス研究の今後」 10:00~12:00
(研究紹介 15分×5件, ディスカッション 45分)

モデレータ : 東京大学 新井 民夫 教授

パネラ : 首都大学東京 下村 芳樹 教授

産業技術総合研究所 上田 完次 理事

フューチャーアーキテクト株式会社 碓井 誠 取締役副社長

経済産業省 商務情報政策局サービス政策課

大隈 隆史 研究開発プロジェクトマネージャー

科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室 篠崎 資志 室長

◆ 午後の部 サービスの設計研究の展開

(13:20 ~ 16:30)

- サービス工学研究会のご紹介 13:20~13:40

設立の経緯、実績、活動方針

東京大学 新井 民夫 教授、首都大学東京 下村 芳樹 教授、他

- 第三期サービス工学研究会 活動報告 13:40~16:00 (活動報告 40分×3件, 全体質疑 20分)

参加団体による事例紹介、サービス設計方法論の適用結果

日立製作所、三菱電機ビルテクノサービス、キューケンエンジニアリング、東京大学、首都大学
東京

- 今後の活動計画 16:10~16:30

第三期サービス工学研究会の活動計画、他

◆ 展示・デモ

- サービス工学ポスター、サービス CAD デモ展示

サービス工学概要説明、サービス CAD 「サービス・エクスプローラー」 デモ展示

東京大学、首都大学東京

※ 尚、都合により上記内容は予告なしに変更する場合がございますことご了承ください。

サービス工学研究会セミナー事務局

e-mail : seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp

以上